

審議会等の議事の要旨【要点】(案)

会議名称	令和5年度第1回立川市交通結節推進協議会
開催日時	令和6年3月5日(火)午後13時30分～14時30分
開催場所	立川市女性総合センター第3学習室
次第	<p>1. 議 事</p> <p>(1) 令和4年度歳入歳出決算について</p> <p>(2) 令和4年度実施のターミナルサイン等の修正について</p> <p>(3) 令和5年度・令和6年度実施予定案内サインについて</p> <p>(4) 交通結節推進協議会の今後の在り方について</p> <p>(5) その他</p>
配布資料	<p>資料1：令和4年度立川市交通結節推進協議会歳入歳出決算書</p> <p>資料2：令和4年度案内サイン 修正・設置個所</p> <p>資料3：令和5年度・令和6年度実施予定の案内サインの修正について</p> <p>資料4：交通結節推進協議会の今後の在り方について</p>
出席者	<p>[委員]</p> <p>小早川悟会長、稲垣具志副会長</p> <p>野澤英一委員、秦野凌委員、米澤暁裕委員、藤原廣彦委員、中村太郎委員代理、新井和典委員、岡本康彦委員、枝村珠衣委員、大石幸治委員、鈴木淳委員代理、中野史朗委員</p> <p>[事務局]</p> <p>大和田智也(交通対策課長)、津崎政人(交通企画係長)、日比雄一郎(交通企画係主任)、岩澤愛(交通企画係主事)</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	無し
会議結果	<p>1. 議事</p> <p>(1) 令和4年度歳入歳出決算について事務局より説明を行い、質疑応答を行った。</p> <p><会長></p> <p>事務局より説明のあった、令和4年度歳入歳出決算について、ここ数年1円だけ残っていたが、綺麗に清算してもらった。皆様からご意見があればお願いしたい。</p> <p><全委員></p> <p>特になし</p> <p>(2) 令和4年度実施のターミナルサイン等の修正について事務局より説明を行い、質疑応答を行った。</p> <p><会長></p> <p>修繕に関しては、既存のものを綺麗にしたが、追加したものもあるのか。</p> <p><事務局></p> <p>資料の5ページから7ページに記載している、立川市のコトリンクと</p>

いう、東京都との複合施設がデッキに直結しているため、昨年度にサインを追加した。

<会長>

建築物の増加に伴い、サインを追加した。
なにか意見があればお願いしたい。

<全委員>

特になし

(3) 令和5年度・令和6年度実施予定の案内サインの修正について事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

<会長>

QRコードの変更は来年度なのか。

<事務局>

来年度、東京都の案内板の更新に合わせて、変更を予定している。

<会長>

実際に、車いすを利用されている方にとってもQRコードが提案のように変更されると使いやすいか。

<委員>

車いすを利用されている方でも姿勢を変えられる方と変えられない方がいる。大部分の方は、座った状態での視点がサイトラインとなるため、変更されると良い高さとなる。

現在の状態だと屈んで、スマホを向ける必要があるため、少々難しい。

<会長>

ありがとうございます。
他意見があればお願いしたい。

<副会長>

5ページのエスカレーターは側面と路面にサインを付けるという理解で良いか。

<事務局>

おっしゃるとおりです。

<副会長>

北口デッキ(N8)の側面に付いている貼り付けイメージのエスカレーターピクトの矢印が上向きだが、デッキ階ならば下向きの矢印でなければいけない。これは、あくまでもイメージという認識で良いか。

<事務局>

駅から向かって行くと登りのエスカレーターの側面が見える形状のため、誤って登りのエスカレーターを利用することが無いように、設置するのであれば上向きの矢印のエスカレーターピクトとなっています。

<副会長>

右側通行で、下るときは右側から乗る必要があるのか。

<事務局>

そのとおりです。

<会長>

上下両方の矢印を付けるか、取るという考えもできる。

<副会長>

サインの基本的な考え方として、自分の取るべき行動とサインの整合が取れている状態が望ましい。ただ、今言われた懸念もある。発達障害がある方にはサインが有利に働き、誤って登りを利用して

しまう事は考えられる。手前側が下りだと思いが、写真では見切れてしまっているが、こちらにサインを貼る場所はないのか。

<事務局>

貼る場所はあるが、人の導線として見る人がいない。

<委員>

N7は矢印は下向きの方が下りのエスカレーターとなるが、N8は裏側となってしまい、下りのエスカレーターを利用する人からは見えない状態となる。

<副会長>

現地調査をさせてもらいたい。

また、南口のS13の地上から乗るエスカレーターのサインが下を向いていた。左側が登りだが、地上の歩道側に付いている矢印が下を向いていた。反対側のS11の矢印は上を向いていたので、可能であれば修正をしてもらいたい。

<事務局>

歩道側のエスカレーターの側面は、多摩都市モノレールの管理である可能性があるため、多摩都市モノレールの方と対応について確認をして進めていく。

<会長>

今、指摘があった矢印については検討をしてもらい、混乱を招かないように工夫をしてもらいたい。

<事務局>

矢印については、副会長に一任にさせていただき、ご助言をいただいて進めていきたい。

<会長>

一任いたします。

他にご意見があればお願いしたい。

<委員>

前回の会議で、N29のエスカレーターの乗り口の点字ブロックが、2列無ければいけないのに、デッキ上は1列しかないという指摘があったが、これは対応が出来ないから、仕方ないという結果になったのか

<事務局>

こちらについては、前回の協議会后と今協議会前も道路管理者である道路課に確認をとりましたが、技術的に2列にするのは難しいという回答を得ていますが、何か工夫ができないかなど、交通対策課として道路課に申し入れを続けていく。

<会長>

サイン等の詳細については、副会長に一任をして決めて行っていく。

(4) 交通結節推進協議会の今後の在り方について事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

<会長>

本協議会は、東京オリンピックを契機にサイン計画を実施するため、平成30年度に立ち上がり、整備を含め話し合いを行ってきた。立川市としても地図やサインを修正するなど行ってきて、一つの役目を終えたとも言える。地域公共交通会議と機能統合して、維持管理については統合した新たな協議会である「地域公共交通活性化協議会」で行っていく。

原則としては、本協議会の殆どのメンバーが統合先の協議会のメンバーだが、立川観光コンベンション協会については、外れてしまうが、オブザーバーという形で関わって貰うことが可能ではないかという提案だが、ご意見等があればお願いしたい。

<副会長>

この協議会でサインの基本ルールを定めて、その後具体的なデザインを考え、委員の方々にチェックをしてもらい、一通り協議会としての大きな役割を担ってきたが、当初はバリアフリーの視点などを重視されており、立川市民はもとより、立川市に来訪する方の多様性を受け入れる案内システムにして行きたいという話だった。そのため、先ほどの話にあった「エスカレーターの乗り口の点字ブロックがなぜ1列なのか？」など公共交通だけではなく、街の多様性を受け入れる議論が出来ていた事が特徴なのだと思う。それが先ほどの事務局からの説明では、機能統合された後は、維持管理等に関する何か起きた時に議題に挙げるということだったが、私はこれに違和感を覚えた。これは、少なくとも年に1回はやらなければならないと考える。これまでも年に1回集まり、モニタリングを行うため、事務局もタスクとして確認を行ってくれているが、何かあった時に議題として挙げるという型にシフトし過ぎると、サインは大体整備したと注視せず、議題に挙がらなくなる可能性があるのは良くない。そのため、この協議会の機能を継承するのであれば、少なくとも年に1回は、チェックをする議題は必ず残すという意味確認をしたい。

<事務局>

私共の説明が不足しておりました。現状のサインを維持しながらモニタリングを継続し、結果を報告することは、今後も継続していく予定です。新たに大きな整備をするなど、検討をしていただくようなことがあった場合には、部会の設置の必要があると考えている。

<副会長>

地域公共交通活性化協議会は、ネットワークの話がメインとなってくると思うが、立川駅は乗り継ぎの上下移動が激しいため、わかり易さをかなり重視しなければならず、これまでかなり改善してきた。そこでのバリアフリーやユニバーサルデザイン的な要素をきちんと議論する地域公共交通活性化協議会になると結構ユニークな、他の自治体と比べて、立川ならではの協議会になるのではないかと。

<委員>

先ほど資料の中で、来年度から地域公共交通計画の作成を始めるという話だったが、現時点でスケジュール感が決まっていたら教えていただきたい。令和6年度の1年間をかけて計画を作成して、令和7年度から計画期間が始まるという理解で良いか。

<事務局>

現時点での予定は、令和6年度・7年度の2年間で作成していく予定となっている。来年度については、7月中に地域公共交通活性化協議会を立ち上げ、それ以降に議論を開始していく予定でいる。その中で、計画の策定と一緒にコミュニティバスの再編の視点を持ちながら、調査と作成を同時並行で進めて行く想定をしている。

<委員>

令和8年度からの計画ということか。

<事務局>

令和7年度末を目標にした作成を想定している。

<会長>

先ほど、副会長から出た提案として、必ず年1回は議案に挙げてほしいと私も要望する。

今回の協議会については、地域公共交通会議に機能統合をさせてもらい、交通結節推進協議会については、そちらに機能を移すということで、承認をしてもらえますか。

<委員全員>

承認

<会長>

ありがとうございます。次年度以降は、機能統合した形で進めて行ってもらいたい。

(5) その他

<事務局>

本協議会の任期については、令和6年7月2日となっているため、それまでに緊急の事案が発生した場合には、基本的には書面を想定しているが、委員のみなさまへ意見をお聞きすることがあることをご承知おきいただきたい。

また、サインの整備にあたりバス事業者様と結んだ協定やその他整理すべき事があるため、発展的解散に伴った事務手続きについては、個々に整理をさせていただきたい。

さらに、ターミナルサインの基本ルールは策定済みのため、市以外のサインの管理者である各事業者につきましても、基本的ルールに則り、維持管理を継続していただきたい。

<会長>

全体を通して、ご意見等があればお願いしたい。

<委員>

協議会は統合されていくが、これまで行ってきたサインに関することが施工後に、文字からわかりやすいピクトグラムへの変更や駅口からの乗り換えや行先の表示などの改善点が見えてくるので、スパイラルアップされ、追加されていくべきだと考える。今後も継続して取り組んでいきたい。

<会長>

様々な協議会に出ているが、地域ごとに抱えている問題が異なっていて、立川は立川なりのやり方があると思うので、ぜひ地元の方しか分からない所が沢山あるので、立川は立川なりの良い案が出ると他と違って良いと考えている。

本当に長い間、ご尽力をいただきまして、ありがとうございました。

引き続き、機能移転する地域公共交通活性化協議会で、みなさまの忌憚のないご意見をいただけると有難いと思いますので、よろしく願いいたします。

	<p><事務局></p> <p>本日は皆様から多様なご意見をいただきまして、ありがとうございます。これまで、協議会のためにご尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。任期は令和6年7月2日までとなるが、一旦、本協議会は本日をもちまして、発展的解散となります。立川市が引き続き、多摩地域の公共交通の結節機能を果たして、利便性の高い街となりますように、引き続き、ご協力のほどよろしく願いいたします。</p> <p>閉 会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
担当	まちづくり部交通対策課交通企画係 電話 042-523-2111 (2279)